

# 平成29年度 学校自己評価システムシート（県立入間向陽高等学校）

目指す学校像	「ひたむきに、おおらかに、たくましく」未来を生き抜く心身ともに健全な若人の育成
--------	---

重点目標	1 授業改善及び学習習慣の確立を通じた学習意欲の向上 2 行事等の実践を通じた主権者意識の育成及び自律的・基本的生活習慣の確立 3 生徒一人一人に即した進路選択とその実現 4 保護者参加と中学校・地域との連携強化による協力支援体制の確立
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	35名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 1 月 1 8 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒達の授業態度は大変落ちており、集中して取り組んでいる。授業への理解度も高い。生徒達は、わかりやすい授業とともに主体的に参加できる「参加型授業」を求めている。教職員はこれらの現状や要望を踏まえ、生徒の主体的な授業参加と基礎的基本的な学力の定着を統一させた授業改善が望まれる。また、生徒の多様な進路希望を念頭に置き、大学受験への対応とその土台となる基礎的な知識や思考力を養成していくことも課題である。</li> <li>調査前の学習には、大半の生徒がよく取り組んでいるが、日常的な学習の習慣が身につけていない生徒も多く、引き続き学習習慣の確立が課題である。</li> <li>生徒の進路意識は、徐々に高まりつつある。特に進路に関係する科目選択については、進路と結び付けながら、学習意欲の向上にもつなげていくことが大切になってくる。</li> </ul>	基礎的・基本的事項を重視した授業改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケートの結果を踏まえ、より一層興味関心を引き出す授業を創意工夫し実践していく。また、生徒が自ら考え、意欲的に参加できる授業を模索していく。</li> <li>引き続き「初期学習指導」を実施するとともにし、家庭学習習慣化のため、継続的な課題の提示と評価を行い、生徒自身による学習の振り返りを促していく。</li> <li>科目選択にあたり、進路と結び付けられるような情報提供と指導を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケートの分析や職員間の情報交換と共通理解を深めながら、授業改善への課題を明確にし、様々な創意工夫と実践に取り組むことができたか。</li> <li>「初期学習指導」によって学習への動機付けができたか。また、課題や定期考査等の評価と生徒自身による学習の振り返りにより、家庭学習の習慣化を検証することができたか。</li> <li>科目選択に関し、生徒に自分の進路を自覚させながら適切な情報提供と指導が行えたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も生徒アンケートを実施し、授業を大切にする雰囲気定着し、予習復習をしている生徒が確実に増加していることが確認され、授業改善の努力と生徒達の意識向上により、日常的な学習習慣が身につけてきていることがわかった。</li> <li>1年生の初期学習指導は、専門家の講演の他、各教員が最初の授業で学習の意味や学習方法を伝える等のコンセンサスが形成され定着してきている。2,3年生においては、生徒の学習意欲向上を目指した参加型授業・わかり易い授業への創意工夫が行われている。</li> <li>1,2年生に対する科目選択ガイダンス等により、多くの生徒が自分の進路を意識しながら学習に取り組んでいる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き生徒アンケートを実施して、生徒の意識・実態を把握しながら、生徒の主体的な授業参加と日常的な学習習慣の確立に向け、一層の授業改善が望まれる。また、生徒達の多様な進路希望を踏まえ、それらの土台となる基礎的な知識や思考力を養成していくことが引き続き重要な課題である。</li> <li>更なる学習意欲の向上・学習習慣の確立のために、生徒・教員双方の取り組みが必要である。教員は、授業の創意工夫と平行して、日々の授業における生徒評価の指標を明確にしつつ、小テストや定期考査の評価を、自らの授業改善へとフィードバックしていくことが重要である。</li> <li>引き続き、進路指導部とタイアップしながら、科目選択ガイダンス等を通じ、生徒の進路意識と学習意欲を結びつけていくような指導が必要である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶・礼儀など基本的生活習慣が身につけている生徒が多く、落ち着いた学校生活を送っている。</li> <li>SNSの使用について、研修会等を実施することで問題の拡大を防止できているが、携帯電話使用のマナーを含め、引き続き理解を深め、トラブル防止に取り組んでいく必要がある。</li> <li>全校生徒が積極的にかかわる「参加型の行事づくり」は、全校生徒に浸透している。生徒アンケートでも「向陽高校の一番の魅力」について「行事が盛り上がる」が第1位となり、生徒の行事への期待が顕著になっている。行事をさらに発展させ、よりよいものにしていくために、全校生徒が「全校生徒参加型」の意味を深め、「参加」から「参画」へと発展させていく必要がある。</li> </ul>	生徒一人一人の個性に即し、人間として望ましい資質の伸長を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間の共通理解と協力体制の確立（特に服装指導・挨拶励行、時間厳守について）</li> <li>朝の登校指導、授業開始時の巡回の継続</li> <li>定期的な頭髪服装指導の実施</li> <li>社会生活におけるマナー向上の指導の一つとして情報セキュリティ研修会を企画する。</li> <li>生徒会部と担任が連携し、生徒会本部・各委員会が論議を深める等、HRを中心とした組織的な運営を推進し、各HRが行事を創っている意識が持てるように行事等の企画・提案を工夫させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通理解と協力体制ができたか。</li> <li>登校指導、巡回指導が継続的に実施できたか。</li> <li>教員の共通理解のもと、生徒の頭髪服装指導への理解を広めることができたか。</li> <li>効果的に研修会が実施できたか。</li> <li>生徒会活動が全校生徒の「参画」を視野に入れて、原案作成・提案・実施を組織的に運営できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の情報共有に努め、生徒指導部・担任の連携を強化した。</li> <li>日々の校門指導、授業開始時の巡回指導は今年度も全教員の協力を得て継続することができた。</li> <li>学期始まりに、学年の教員により整容指導がおこなえた。</li> <li>年度当初に全校に対してSNSの研修会を行い、新入生には、学年集会で再度研修を実施した。また、「向陽高校をよくする会」でも生徒会へ携帯使用のあり方について検討を投げかけ、生徒自身の問題としてマナーを守るよう指導した。</li> <li>全校生徒が企画の段階から行事に携われる活動を目指し、向陽祭での来校者も含めて参加できる企画等をはじめ諸行事等で「参加型」を意識した原案作成、諸会議の運営など生徒会本部を中心に実行した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた教育環境を維持するため全職員の協力体制を維持することが重要である。</li> <li>挨拶の励行等、社会生活におけるマナー向上を図る指導を継続することが重要である。</li> <li>SNS関連の問題は、あらゆる場面で引き続き指導していかなくてはならない。特に、新入生に対して指導を徹底することが重要である。</li> <li>交通ルールや公共の場でのマナー等、一般の方から悪さを指摘されることがあった</li> <li>生徒会の諸行事等の運営、「よくする会」での意見交換の準備等が役員の大代替わりで継承されない傾向がある。生徒間で効果的に引継ぎができるよう工夫する必要がある。また、「参加型」を意識した原案作成、運営を発展させるため繋がりを意識した「外向き」の視点を大切にしていきたい。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価
実施日 平成30年1月30日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、参加型の授業となるよう生徒の要望に基づいて工夫して欲しい。授業が理解できると楽しい。具体的には、生徒同士が教えあうことができる場面がある授業等が求められる。</li> <li>授業に参加するためには、予習・復習はとても大切なことであるが、目標を持つことにより、授業に対する積極性、予習や復習の学習習慣も確立してくる。そのため、将来を考え、自分と向き合うことを大切にしたい。</li> <li>教員の授業づくりに対する努力は、重要であるが、協調学習に費やす教員側の準備は、大変なものがある。生徒が、授業のすぐ後にとりわけ、復習する習慣をつけることが参加型授業を創る上で鍵となる。そのために目標を持つこと、その動機付けが大切となる。</li> <li>挨拶がしっかりとできていて気持ちが良い。大雪の日、校外を除雪してくれた生徒がいて、自然とお互いに挨拶ができた。挨拶をすることは、人と人の結びつきをつくる上で大変重要なことであり、数年前から進歩している。</li> <li>生徒会が SNS 問題、携帯の使用のルールについて校内にポスターを貼り、注意を呼びかけているが、生徒が、SNS の使用についてそれぞれの場面に合わせて対処できるように今後も努力して欲しい。</li> <li>行事の目標をはっきりさせ、たくさんの生徒が参加できる企画を考え、参加型を意識して取り組んでいることがすばらしい。</li> <li>このように試行錯誤から教訓を学ぶことは、大切だが、変えることばかりを求めず、みんなの知恵を集め、自信を持って引き続き取り組んでいって欲しい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケートを受けて、食堂との協議を行うなど、生活環境を向上させていく取り組みができています。さらに取組みを発展させるため、身近な学校的生活環境の向上につながる議論を活発に行う中で、生徒の主権者意識を育成しく必要がある。</li> <li>・部活動が盛んで8割以上の生徒が3年間部活動を継続している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや生徒総会での意見を踏まえて、生徒会として関係部署と協議できる機会の推進</li> <li>・意欲、向上心を高める部活動の推進と、そのための環境整備の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート項目を工夫し、その結果から、生活環境向上の可能性を多角的に検討し、協議できたか。</li> <li>・部活動加入率の維持向上ができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の意見を、効果的に反映できるように、アンケート項目を改善し、学食と協議を重ねた。また、生徒指導部からの投げかけを受け、SNS 使用についてルールを守る呼びかけを行った。</li> <li>・昨年に引き続き、全校をあげて部活動加入率の向上を目指し部活動紹介、勧誘、宣伝活動に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学食アンケートの見直し・改善を実施し、新たな課題も見つかった。SNS 問題への取組みは新しい取組みであったが、生徒会がこうした自治的課題改善に向けた取組みを提起していくことが主権者意識を形成していくことに貢献している。全校生徒にフィードバックを行い、取組みを発展させたい。</li> <li>・部活動の条件整備の要望に応えられるように、部活動予算に配慮して生徒会予算ではまかなえない部分を引き続き PTA に協力を求めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学食の業者の交代や値段、メニューについて話し合っていることは様々な点でよいことである。学食で働く人にも生活があり、言わば社会の縮図に生徒がかかわる環境が素晴らしい。大人との話し合いは、生徒を成長させることになる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望は多様である。より有効な進路選択の動機づけとなるように、進路行事の工夫が必要である。</li> <li>・生徒は日々の授業を基本に、漢検や英検などの資格の取得をめざしたり、受験に向けて努力している。希望する進路を実現するためにはさらに受験に耐えうる学力・教養が求められる。入間向陽高校をよくする会でも自習室の設置要望が、生徒から積極的に出ている。補習体制の充実や学習場所の確保が課題である。</li> <li>・進路指導にあたっては、様々な進路情報が必要となる。生徒・教職員・保護者で進路情報を共有していくことが課題である。</li> </ul>	<p>生徒一人一人を大切に、その進路実現を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人講話は継続して企画する。社会人の話を聞くことで将来の職業を意識させる。また、分野別ガイダンス、進路見学会を通して上級学校や職業の知識を深める。</li> <li>・授業を大切にしながら、スタディーサポート、模試など各種テストを学力増進の機会として活用する。また、自習室を設置し自主的に学ぼうとする姿勢を支援する。</li> <li>・面談などを通して生徒理解に努める。また、「進路だより」、「ホームページ」、「保護者向けの進路ガイダンス」を通して保護者への情報提供を行い、家庭と協力して進路指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自分の将来について考え、職業・上級学校についての知識を深めることができたか。</li> <li>・進路意識・学習意欲を高め、進路実現に向けて学習に取り組んでいけるように、方策の検討・見直しはできたか。</li> <li>・生徒の進路への取り組みや学校の進路指導状況について生徒・保護者へ十分に情報を提供できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人講話は希望の講座が受講できるように変更して好評であった。分野別ガイダンス・進路見学会は、上級学校や職業についての知識も深まり、進路選択の一助となった。</li> <li>・1, 2 学年はスタディーサポート、実力テストを実施。3 学年は実力テストを実施した。希望者を対象として進路に応じた模試も複数回実施した。その他、補習や小論文指導、面接指導も実施した。また、自習室を新設し、3 年生を中心に活用されている。</li> <li>・進路の手引きを改訂し、3 年次の進路活動日程が一目で分かるようにした。1, 2 年生から進路計画がし易くなったと好評である。進路だより・ホームページにより進路情報を定期的に発信することもできている。1, 2 学年は6 月に面談を実施し、1 月には進路保護者会を開き、進学資金の講演を予定している。</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人講話で一般的な話ばかりする講座があった。仕事のこと・職場の様子が十分に伝わらない内容であった。目的にそった内容になるように注意していきたい。また、進路行事は早めの準備が必要なので引き継ぎをしっかりとしていきたい。</li> <li>・3 年生の面接指導はDVDから講師へと変更し好評であった。今後も検討したい。スタディーサポートは実力の判定だけでなく生活習慣や悩みなどを知る手がかりとなる。生徒指導の面でも役立てたい。2 学年で行う小論文指導については、内容や実施時期について改善したい。自習室についてはより多くの生徒が有効に活用できるように目を配っていきたい。</li> <li>・「進路だより」は軌道に乗りつつある。引き続き定期発行できるように努めたい。進路室には信頼できる進路情報が用意されている。進路情報を自主的に収集するために、進路室の活発な利用を奨励していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人講話や各学年のガイダンスは、進路への気持ちを高める上で役立っている。引き続き取り組んで欲しい。</li> <li>・自習室の設置についてこの場の意見交換から具体化されて学校環境の改善の役に立てて喜ばしい。</li> <li>・自習室使用の記名式については、利用のハードルを下げるため検討して欲しい。</li> <li>・進路については、知らない職業がたくさんあり、様々な職業を調べガイダンスなどの情報から、目標を立てることが大事である。じっくり考えて進路を決めることが必要。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA・後援会が中心となり、体育祭やマラソン大会の給水支援、正門前の花植えなど生徒の活動に直接関わる活動を行い、生徒理解を深める活動を大切にしている。また、PTA・後援会として生徒会活動・部活動等を支援する活動を行っていただいて本校の教育活動が大きく支えられている。上記の活動をPTA 全体へ広げていくことが課題である。</li> <li>・入間向陽高校をよくする会（学校評価懇話会）での教員、生徒、保護者、地域の意見交換は、それぞれの当事者性を持った内容で行われ、生徒の成長を励ます教育的な場として機能している。また、学校の現状を多面的に捉え、相互理解が深まる場となる中で生徒が、学校的生活環境を改善する自治的な取組みを育てる場ともなっている。こうした取組みが生徒の主権者意識を育てることに繋がるよう発展させること必要である。</li> <li>・学校説明会(3 回)、中学校訪問、豊岡小学校との交流など教育活動への理解と信頼を深める中学校や地域との交流、連携の取組が定着している。</li> </ul>	<p>保護者参加に基づく地域に開かれた学校づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部役員・各委員会委員長と担当教員との連絡・協議を密にする。このことにより生徒理解を深めた、学校の実情に基づく取組みができるよう本部・各委員会の計画立案、実行に係わっていく。</li> <li>・生徒を成長させることを中心に意見交換を行うとともに学校と保護者、地域の信頼と協力関係を深める運営を行う。</li> <li>・事前に協議内容について論点整理を行い、当日の進行が円滑に行えるよう取り組む。</li> <li>・意見交換の内容について生徒会ニュース、PTA 広報、職員会議等で還元する。</li> <li>・中学校、中学生、その保護者へ理解と信頼を深める学校説明会、中学校訪問、地域交流の企画・実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部・各委員会の計画立案に、その委員会の理事と担当教員が組織的に係わることができたか。</li> <li>・入間向陽高校をよくする会の意見交換の内容がアンケート等生徒の実情に基づき、生徒、保護者、教職員に還元され、共通理解を深める取組みが行われたか。</li> <li>・それぞれ事前に参加者と打ち合わせを行い論点整理ができたか。</li> <li>・意見交換の情報がそれぞれに伝わったか。</li> <li>・中高連携、地域交流のあり方の共通理解ができ、効果的な連携・学校説明会等を実施できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部委員と担当教員とが、諸行事について連絡を取り合い、計画から運営まで概ね順調に行うことができた。体育祭、マラソン大会での給水活動、正門前の花植えなどの取り組みは定着してきている。昨年度からスタートした挨拶運動も、保護者が来校するよい機会となっている。</li> <li>・生徒要望アンケートの分析に基づき、意見交換を行った。意見交換が授業、進路、行事、施設設備にまで及び学校の現状について共通理解を深めることができた。SNS 問題をどう解決していくか、食堂のメニューを売り上げ等経営からも考えること等、生徒も保護者も教職員も自治的な課題を考える有効な場となった。内容も生徒総会、PTA 広報、職員会議等で報告され丁寧に還元された。</li> <li>・学校説明会を4 回、中学校訪問を6 月、11 月、進学フェア(7 月、10 月)への参加、入間市教育委員会が企画する上級学校研究(2 月)への対応を行った。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給水活動や花植え、挨拶運動は恒例の活動として定着したようである。これらを通じて保護者の来校機会が増えたこと、生徒たちと顔を合わせる機会を多く持ったことは大変有意義なことで有り、来年度も継続して行けたらと思う。こうした活動を通じて、役員以外の保護者にも生徒理解を深めていきたい。</li> <li>・生徒アンケートの分析に基づき意見交換を続けることで学校の現状と変化を考えることができていく。そのため生徒理解を深める貴重な場となっている。「よくする会」へのHR 代表の傍聴についてももう一歩進めて発言を求めている方向も考えられている。引き続き、生徒会を中心とした準備を丁寧に行い、生徒の主権者意識を高める場として機能できるよう発展させたい。</li> <li>・学校説明会、上級学校研究には、本校生の姿を見ていただけるよう企画し、そのことが本校の教育活動の実際の様子を伝えることになり、中学生と保護者から好評であった。入間向陽高校の教育活動への理解と信頼を広げるために引き続きいた取組みが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA、後援会活動にかかわることで生徒が成長する姿を見ることができて幸せに感じる。</li> <li>・行事を運営していく中で企画からかかわってくれる仲間も多く充実した活動ができた。入間向陽高校をよくする会は、生徒会で取り組んできたことが検証できる場となり、成長を促された。</li> <li>・この会での意見交換に参加して生徒集団として確かに成長していることを感じる。また、入間向陽高校の生徒のいいところを一般市民目線でしっかり確認していくことも大切である。中央委員も発言できるよう運営が改善されたが、より活発な発言ができるようになることを期待する。</li> </ul>